

おおま

岬の光

No.

113

令和4年5月1日発行

議会だより

大間小学校



4/7 入学式『ご入学おめでとうございます』



奥戸小学校

3
月
定
例
議
会

主
な
内
容

○令和4年 第1回定例会

P 2～4

○2議員が一般質問

P 5～6

○大間・函館フェリー航路における意見交換会

P 7

○大間・函館フェリー航路アンケート調査結果・全員協議会・特別委員会

P 8～9

○電源社長新年挨拶・複合施設安全祈願祭・編集後記

P 10

第1回 3月定例会

令和4年第1回定例会を3月3日開会し、3月11日に閉会しました。

本議会に提案された承認2件、議案16件、同意1件はすべて原案のとおり承認、可決、同意しました。

令和4年度 当初予算

一般会計

歳入歳出とも53億5516万円となり、前年度比11億3231万円、26.8%の増。

歳出の主なるもの

総務費

- 庁舎リース料9978万円。
- 内山倉庫改修工事879万円。
- ふるさと応援基金積立金3000万円。
- 水産振興基金積立金4275万円
- 大函丸購入費4328万円。
- 下北地域広域行政事務組合負担金5735万円。
- 原子力発電所対策費1533万円。
- 電子計算費2288万円。

民生費

- (仮称)複合施設建築工事・外構工事合わせて7億9292万円。
- くろまつ給湯設備更新工事2275万円。
- 下北地域広域行政事務組合負担金1240万円。
- 後期高齢者医療療養給付費負担金4440万円。
- 社会福祉協議会補助金3426万円。
- 障害福祉サービス費等給付費1億2393万円。
- 国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計繰出金合わせて1億9183万円。
- 大間保育園運営費及び児童手当合わせて1億2814万円。

衛生費

- うみの子保育園指定管理料6396万円。
- 子ども医療費取扱委託料1200万円。
- 下北医療センター負担金1395万円。
- 各種検診及び予防接種委託料合わせて3522万円。
- 環境衛生費で下北地域広域行政事務組合負担金5578万円。
- 一般廃棄物収集運搬及び施設等業務委託料3630万円。
- 下北地域広域行政事務組合負担金2億234万円。
- 大間町水道事業会計負担金1714万円。

農林水産業費

- 繁殖センター費で飼育費等合わせて3109万円。
- 大間町繁殖育成センター管理業務委託料1463万円。

商工費

- 下北北部地区中山間地域総合整備事業負担金2083万円。
- 鳥獣被害対策連携業務委託料1390万円。
- 大間町水産振興事業費補助金1650万円。
- 材木漁港機能保全計画更新業務委託料111万円。
- 地域水産物供給基盤整備事業負担金・港整備事業負担金・漁港施設機能強化事業負担金合わせて1700万円。
- 警備・清掃・雑役業務委託料1321万円。
- 小規模経営改善普及及び商工振興事業補助金1715万円。
- ブルーミングフェス

土木費

- 道路維持補修及び改良工事等合わせて9456万円。
- 道路改良工事合わせて4000万円。
- 港湾改修事業負担金及び港湾浚渫事業負担金合わせて1490万円。
- 町営住宅大間崎団地建替工事及び解体工事合わせて1億5500万円。
- 下水道事業特別会計繰出金1億2983万円。
- 下北北部地区中山間地域総合整備事業負担金2083万円。
- 鳥獣被害対策連携業務委託料1390万円。
- 大間町水産振興事業費補助金1650万円。
- 材木漁港機能保全計画更新業務委託料111万円。
- 地域水産物供給基盤整備事業負担金・港整備事業負担金・漁港施設機能強化事業負担金合わせて1700万円。
- 警備・清掃・雑役業務委託料1321万円。
- 小規模経営改善普及及び商工振興事業補助金1715万円。
- ブルーミングフェス
- 道路維持補修及び改良工事等合わせて9456万円。
- 道路改良工事合わせて4000万円。
- 港湾改修事業負担金及び港湾浚渫事業負担金合わせて1490万円。
- 町営住宅大間崎団地建替工事及び解体工事合わせて1億5500万円。
- 下水道事業特別会計繰出金1億2983万円。

消 防 費

○下北地域広域行政事務組合負担金4億1838万円。
○大間町消防団事務委託料2904万円。

教 育 費

○スクールバス運行業務委託料941万円。
○大間町史編さん委託料1370万円。

公 債 費

○元金4億7467万円、利子1314万円の当該年度支払見込額を計上。

諸 支 出 金

○大間病院会計負担金2億3844万円。
○予備費2000万円。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ7億677万円、前年度比133万円、0.19%減となる。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ5648万円、前年度比583万円、11.53%増となる。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ6億5621万円、前年度比575万円、0.88%増となる。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ2億4956万円、前年度比2804万円、12.66%増となる。

水道事業会計

○収益的収入及び支出

の営業収益1億2248万円、営業外収益4004万円。
○資本的収入及び支出の資本的収入で2億6095万円、資本的支出で3億2720万円。
※資本的収入が資本的支出に対して不足する額6625万円は内部留保資金等で補填する。
※企業債及び一時借入金の限度額1億4300万円。

再 任

固定資産評価
審査委員会委員



松原 壽廣 氏

専 決 処 分

○住民非課税世帯等に対する臨時特別給付金及び生活困窮者に対する灯油購入費支援金並びに財源調整の予算措置。
○除排雪経費及び財源調整の予算措置。

大間町特別職員の給与の特例に関する条例

○引き続き特別職員の給料月額の特例を定める。

条例の一部改正

○非常勤職員の育児休業・介護休暇等の取得要件が緩和されたことに伴い、大間町職員の育児休業等に関する条例の一部改正。
○LPGガス料金が令和4年2月請求分より値上がりとなったことに伴い、関連する各施設の使用料を改正。

令和3年度 補正予算

一 般 会 計

歳入歳出それぞれ1445万円追加し、歳入歳出予算の総額50億4181万円とした。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ837万円減額し、歳入歳出予算の総額6億7525万円とした。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ73万円減額し、歳入歳出予算の総額7億737万円とした。

下水道事業特別会計

歳入歳出それぞれ334万円減額し、歳入歳出予算の総額2億947万円とした。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出それぞれ305万円を追加し、歳入歳出予算の総額6294万円とした。



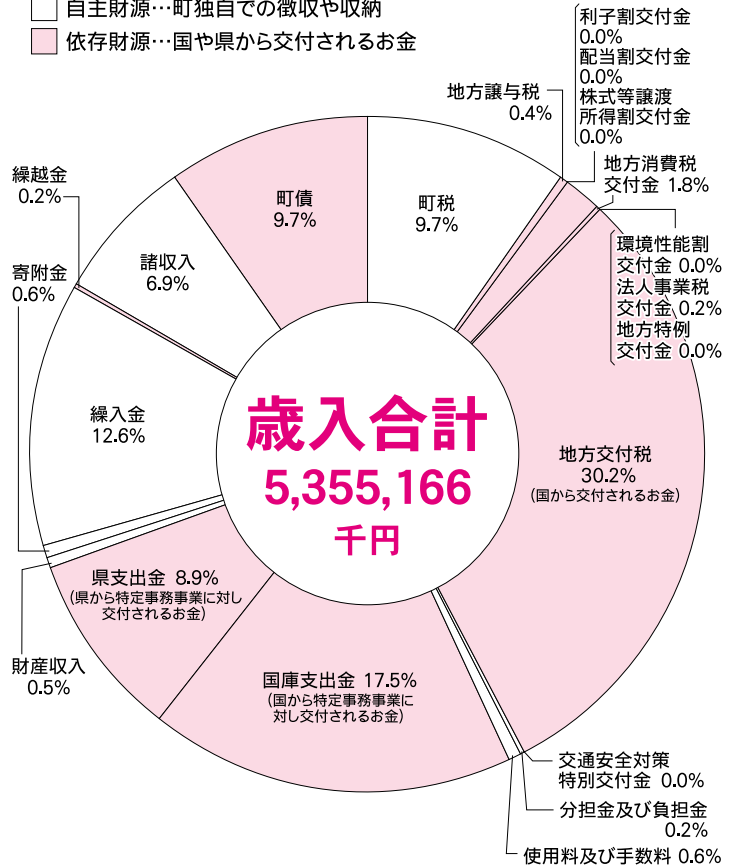
令和4年度大間町一般会計歳入歳出予算内訳

◆歳入

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 町 税	521,240	9.7
2 地 方 譲 与 税	22,628	0.4
3 利 子 割 交 付 金	402	0.0
4 配 当 割 交 付 金	858	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	778	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	98,549	1.8
7 環 境 性 能 割 交 付 金	1,134	0.0
8 法 人 事 業 税 交 付 金	10,135	0.2
9 地 方 特 例 交 付 金	2,201	0.0
10 地 方 交 付 税	1,616,221	30.2
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	10,395	0.2
13 使 用 料 及 び 手 数 料	30,953	0.6
14 国 庫 支 出 金	937,900	17.5
15 県 支 出 金	478,432	8.9
16 財 産 収 入	25,540	0.5
17 寄 附 金	30,000	0.6
18 繰 入 金	674,683	12.6
19 繰 越 金	10,000	0.2
20 諸 収 入	368,920	6.9
21 町 債	514,196	9.7
歳 入 合 計	5,355,166	100.0

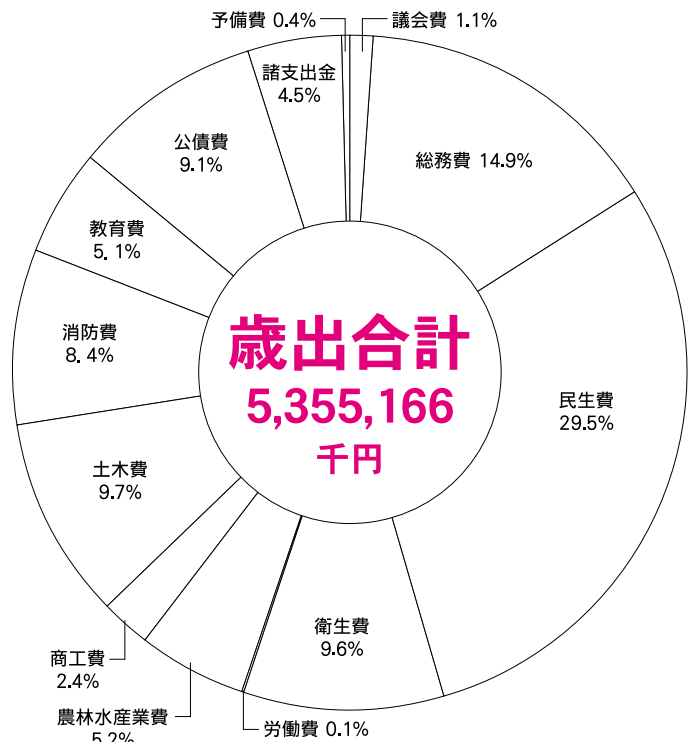
□ 自主財源…町独自の徴収や収納
 ■ 依存財源…国や県から交付されるお金



◆歳出

(単位：千円、%)

科 目	予 算 額	比 率
1 議 会 費	58,335	1.1
2 総 務 費	798,480	14.9
3 民 生 費	1,579,428	29.5
4 衛 生 費	515,196	9.6
5 労 働 費	2,817	0.1
6 農 林 水 産 業 費	280,606	5.2
7 商 工 費	128,268	2.4
8 土 木 費	520,201	9.7
9 消 防 費	450,467	8.4
10 教 育 費	272,105	5.1
11 公 債 費	487,818	9.1
12 諸 支 出 金	241,445	4.5
13 予 備 費	20,000	0.4
歳 出 合 計	5,355,166	100.0



一般質問



野崎 信行 議員
質問時間 60分

盟会において、最重点
要望事項として位置付
け、要望しております。

問5 「ヒラメ放流の階上
県栽培漁業振興会」に
ついて

町長答弁 現在は対象地域が大
畑地区となっておりま
す。今後、両漁協で必
要とあれば協議し要望
したいと考えておりま
す。

問6 「東北区水産研究
所」大間町誘致につ
いて

町長答弁 現在そのような考え
はございませんが、研
究所からの要望があれ
ば、関係機関と協議し
検討してまいりたいと
思います。

問7 「全国高校・和牛甲
子園大会」について

町長答弁 大間高等学校には、
牛を飼養できる環境は
ないため出品出場はで
きないと考えておりま
す。

問8 「フェリー町民割
引」について

町長答弁 現在は航路維持に向
けた様々な案を作成
し、町に提出していた
べくと説明を受けてお
り、町民割引について
も検討案を提出してい
ただくこととなっております。

問9 「フェリーの下北期
成同盟会経営」につ
いて

町長答弁 まずは三ヶ町村協
会において、両村に協
力の呼びかけを行いた
いと考えております。

問10 「一人暮らしパト
ロール」について

町長答弁 老人世帯及び独居老
人に対して、月1回の
訪問を社会福祉協議会
で実施しておりますが、不安のある状況で
ある場合には、必要な
頻度で訪問を行ってお
ります。

問11 「役場行政時間」6
時30分までの開庁につ
いて。

町長答弁 当町では夜間、休日
でも戸籍に係る届出は
受け付けしており、現
状からそれら以外の窓
口業務の延長は今考え
ておりません。

問12 「大間警察署での免
許書き換え」につ
いて

町長答弁 ご質問の住民への不
便さは、余儀なくされ
ることは明らかと思
います。青森県警とい
たしまして、適正な制
度推進にあたり対応し
ているものと思いま
す。機会を捉え地域の
実情を伝えていきたく
と考えております。

問13 「脱炭素自治体計画
募集」について

町長答弁 脱炭素化を行うため
の初期投資及び設備後
の維持費を考えます
と、現在、実施する予
定はございません。

町長答弁 当該議会招致につき
ましては、議会運営の
在り方に関するること
となりますので、私から
は答弁は差し控えさせ
ていただきます。

問14 「フェリー会社と議
会」との会議につ
いて

町長答弁 議会運営の在り方に
関することとなります
ので、私からは答弁は
差し控えさせていただきます。

問15 「大間病院事務局職
員、議会招致」につ
いて

町長答弁 令和4年2月末まで
の実績といたしまして
は、空き家バンクの登
録が5件であり、その
うち売買契約が3件、
契約準備中が1件と
なっており、今後も空
き家バンクの利用促進
のため、広報誌を活用
して周知していきたく
と考えております。

問16 「空き家・空き地バ
ンク調査」につ
いて

町長答弁 43の質問の中から16
を掲載いたしました。

問1 「ヤングケアラー支
援調査」について

町長答弁 当町において、関係
機関よりヤングケア
ラーによる児童の不登
校の実績や相談はあり
ません。

問2 「保育所」と「幼稚
園」の統合について

町長答弁 今後、資料の準備が
整い次第、議員各位は
じめ保護者への説明会

を実施していく予定で
すのでご理解をお願い
いたします。

問3 「防衛庁・大間町誘
致」について

町長答弁 防衛庁大間町誘致に
ついてであります。我
が国の防衛政策に関
する事案と承知しま
すが、ご質問の町が聞き
管理機関を招致する考
えはございません。

問4 「下北高規格道路・
むつ〜大間町」につ
いて

町長答弁 下北総合開発期成同

一般質問



堀 祐介 議員

質問時間 60分

わけじやありません。いろいろな意味で雇用をどうしていくか、今後の課題。

いくら企業を誘致しても、交通面とかいろいろな面で、現実的に難しい。その逆をいって、インターネット関連の会社を、田舎にきてやるとかを見つけた。

再質問 大間町の結婚率を上げる対策は？
町長 出会いの場を、下北広域で取り組んでいる。

コロナが終息後、町ではなく広域でやる。
再質問 広域では、やらなくならぬ撤退、東通も撤退、この対策は町独自でやらなければ？
町長 広域でやらなくなったっていうのは、私は聞いてない。

広域でやらないということになったみたい、マグロが有名な町ですが、マグロをだしに使用して、そういう婚活も必要に取り組んでいきたい。

再質問 現実的な対策は、移住者支援その移住者支援について、町長の考えは？
町長 移住者に関して佐井村が漁師の移住者活動を行っている。私はまだそこまで考えていない、なつかばつかりで、なかなかそこまで手が回ってない、今後取り組む。

再質問 予算付けされ、60万円支援対策を

町長 やらないという

行っている。この対策、一組だけではなく拡充し、情報発信すれば良いと思うが、もともと情報発信して取り組んでいきたい。

再質問 町が目指す目標人口、2040年には、5,275人を達成するとその目標に対して、状況は、4,950人。抜本的なことをやらなければならないのでは？
町長 まずは、少子化問題をなんとかしたい。そのためには、結婚する方を増やしたい、移住者も増やしたい、人口減少を食い止めるということになります。それらに向けてやるしかないのかなと。

質問2 SDGs持続可能な開発目標について、現在では、企業や地方自治体まで取り組みが広がっています。大間町の取り組みはあるのか？
町長 当町は、第2期総合戦略の取り組みをSDGsの17のゴールに関連付けて取り組んでおり、現状では、17あるゴールのうち11ゴールに関連する取り組みの実施持続可能な町づくりを進めている。

再質問 町民が一丸となり、目標に向かって協力していく取り組みは？
町長 質問の意味が分からない。

再質問 17のうち11の取り組みを大間町はやって

いる。

町民が一丸となって取り組む、目標達成に向かっていく取り組みはどうか？
町長 町民と一緒にやって取り組む事業？

再質問 例えば海を綺麗にしようやゴミ拾いとか、そういう取り組みです。皆でこの目標に対して達成しようと思ってるか？
町長 町民が望んでいるのは健康だと思ってる。それに一緒になって取り組むっていうのが、町民全体でいう意味じゃないかなと。

質問3 GIGAスクール構想により、児童生徒に1人1台のタブレットが配布された。全国の学校で、独自にタブレット端末を有効活用した教育を行っている。学校での活用方法は？
教育長 奥戸小では、全児童がタブレットを使用し、オンラインでドリルを取り組んでいる。大間中では、タブレットや電子黒板を使った授業に積極的に取り組んでいる。

また、オミクロン株の感染拡大により、小、中学校の休業を想定し、オンライン授業のための教育委員会等で実際にテストをした。

今後、タブレットの活用につまましては、学校

と意見交換をしながら進めていく。
再質問 不登校の子が学校に通えるようになったと青森市教育長が発表。休校時に、オンラインを使って家庭で授業等、先生とのコミュニケーションをとった不登校の子たちもオンラインには参加した。学校に行く意欲が出てきたとその後、一週間以上登校が数字でも、成果が出ている。不登校対策に、有効だと思いませんか？
教育長 大間中では、朝に生徒が、学校へ行く朝と日記を、タブレットで、教師とやり取りをしていく。

不登校の子の対応も常時できるような形を学校と協議しながら進めている。大間町では、持ち帰るっていうまでは、まだいっていない。今後、そういう方向で学校と協議しながら進めていきたい。

再質問 10年20年後を考えると大間町の魅力を増やしていくには、大間に残って仕事をしたい、進学して、一旦町から出たが、Uターンして、仕事をしたいと思う子をつくっていかなければならぬと思いませんか？
町長 私の質問は、すべて人口減少につながる問題です。是非とも、町長にはご

尽力していただきたい。

は、

は、

は、

は、

質問1 人口減少はさらに加速する傾向。現在の取り組みと町長が考える人口減少への対策は？
町長 令和2年3月に策定の第2期大間町まち、ひと、しごと創生総合戦略において、4つの基本目標を定めて、人口減少及び地域経済縮小等の課題克服を目指して取り組んでいる。新たな施策として、新生児に対する給付金や学校給食等の取り組み等を実施していくこと。人口減少の克服へつなげる。
再質問 創生総合戦略は今町が取り組んでいる事。
町長 町長の人口減少の対策は？
町長 まずは、創生総合戦略について、実施を継続。さらに、4年度から新生児に対しては、10万円

のお祝い金。財政が回復しましたら、2子目、3子目と、小学校の入学祝い金に広めて、支援していきたい。
再質問 企業誘致などの雇用対策は？
町長 町が何で雇用を増やすか一番の課題。電源開発の原発が建設に向かっていると、いろいろな関連企業がくると思う。それらを望むしかない、何をやるかもなかなか上手くない事例がない。原発の関連の会社が、私に必要な会社とそれだけしか答えることはできません。
再質問 むつ市のことですが、アツギの雇用の取り組みとして、雇用の様々な企業に問いかけや全国で募集、先日か企業締結協定を結んでいる。そういう努力はしないのか？
町長 やらないという

は、

は、

は、

は、

第三回 大間函館フェリー航路における意見交換会

出席者 野崎町長、石戸議長、岩泉副議長、正根委員長

「大間町」

コロナの影響や279号線の崩落で大型観光バスの利用客が見込めなく、悪い条件が重なっているがフェリーを無くする考えはない。会社には営業努力をしてもらいたい。

「津軽海峡フェリー」

コロナの影響で令和2年度で3億5,000万、3年度は2億から3億と10年間で15億以上の赤字が続きの航路を維持していく事は非常に難しい問題である。

○前回の課題について

一、前回の意見交換会の中で原価費用の見直し。
一、船を小さくした時の欠航率、エンジンの交換による燃料の話が有った。
一、会社では大函丸は、まだ使用出来る、今急に無くする訳でなく今後相談出来るよう考えておくという話があった。



意見交換状況①

「津軽海峡フェリー」

一、船を小さくしても運航は可能だが欠航率が増える可能性はある。

一、エンジンを一機減らすことで燃料費に大きな削減効果が出る。
一、大函丸は船齢としては若く10年は使用できる。

一、大間ターミナルを町営で運営してもらえば、数字的に見えるようになり前向きに進めることが出来る。
一、お客様に不便をかけるがボーディングブリットを使用せず他の入口の利用で修理費やコストが200万〜300万円削減になる。



ターミナルとボーディングブリット

一、今のままだと航路を残すという説得は、社内に厳しい状態だ。

○国、県に対する要望活動について

「大間町」

一、町と議会で昨年の12月に国、県に対し、避難道路や大間原発のほか、フェリーの恒久的な運航をするための支援をお願いしている。

一、東通原発で事故があった時に移動手段としてフェリーを使用する実験をしている。住民の生命を守る航路維持と原子力防災の位置づけの支援の要望活動を進めていきたい。

「津軽海峡フェリー」

一、青森県と昨年防災協定を会社と締結した。
一、大間フェリーターミナルも防災や避難手段として県と協定を結んだうえで町から国に訴えてほしい。

○国道279号線の移設について

「大間町」

一、旧フェリー埠頭側の道路は国道になっていくが新フェリー埠頭の方を先に国道指定に切り替えのお願いをしている。

一、避難道路として何か支援出来ないか国土交通省に要望している。

「津軽海峡フェリー」

一、現在のターミナルは私有地なので国道にするのは難しい。

一、フェリーの整備費が年間数千円もかかるのでドック代として支援出来ないのか。

○航路維持に向けた今後の取り組みについて

「大間町」

一、会社はどのくらいの支援が必要なのかはつきりしないと先に進まない。

一、船を小さくした方が将来的に負担がかからないのか現状の方はどうなのか、会社の方からアドバイスをしてくれれば非常に助かるが。

一、期間も差し迫っている。出来れば会社から5案ほど示してもらえれば検討をし、それに合った働きかけが出来ると思う。

「津軽海峡フェリー」

一、いろいろな相談させてもらい出来るものを探さないとならないと思う。

一、運賃やターミナル等を含め素案を作成し、事務局経由で提案をし、それを確認しているいろいろな方法を探してほしい。

○三ヶ町村との連携について

「大間町」

一、新造船の建造時か



意見交換状況②

ら三ヶ町村での枠組で進めるほうが原発や国に対する対応が大きいという話しも有った。

一、原発に対しては三ヶ町村協議会がある。その会議の中でフェリーでの避難輸送の話は出来る。

「津軽海峡フェリー」

一、2年後の切り替時に枠組を三ヶ町村に広げることは可能なのか。

「大間町」

一、次の三ヶ町村協議会でお願ひすれば良いと思う。

一、下北期成同盟会にもフェリー問題を提案している。

一、今後県とは継続に向けて事務レベルでの協議も進めていきたい。
一、航路維持に向け今後も色々な事について、努力を続けていきたい。

大間函館フェリー航路 アンケート調査結果

- 1、配布件数2、100件
- 2、回答件数361件
- 3、回収率17.19%
- 4、フェリー利用世帯数46世帯
- 5、フェリー利用人数663人

○一年間の利用人数

- 1、男性204人
- 2、女性210人

○大函丸の利用目的

(複数回答)

1、通院	24件	44.53%
2、仕事	37件	6.75%
3、買物	84件	15.33%
4、観光	94件	17.15%
5、学業	5件	1.09%
6、その他	83件	

○航路維持による地域の活性化について

1、とても感じる	157件
2、感じる	123件
3、感じない	25件
4、全く感じない	25件
5、わからない	26件
6、未回答	5件

○大間、函館フェリー航路についての意見

一、フェリー航路は病人にとって生活航路です。

一、命と暮らしを守る航路です。

一、通院割引もありなくはない病人の足だ。

一、病院や観光に利用廃止になれば大変困る。

一、廃路になれば町外への引越も検討する。

一、フェリーが無くなれば遠回りになり不便だ。

一、新幹線利用するよりも便利なので今後も利用する。

一、一日一便でも運航すべきである。

一、下北を陸の孤島にしない。

一、下北で県、国を動かして航路を持続発展させるための制度を確立させる。

一、情報発信をし多くの人の賛同を得る。

一、船の経費を考えると町の人口も減っている。小さい船でいいと思う。

一、航路を廃止すれば、さらに町の活気が悪くなる。

一、フェリー航路は国道だと思っている。国で援助すべきだと思う。

一、フェリーが無くな

る話が出ているが、通院している者は大変こまる。

一、町はもちろん青森県の活性化にとって重要だ。

一、国民の移動手段として欠くことのできない航路だと思う。

一、災害における避難等に対応するための交通手段としても欠くことが出来ない航路である。

一、国、県、事業者が協議を行い、しっかりと政治判断をして頂くことを望みます。

○航路廃止の意見

一、税金投入はやめて下さい。

一、赤字のフェリーを使わなくても思う。

一、町の負担になるならフェリーはいらない。

一、町民に負担を強いるのであれば航路廃止も検討すべき。

一、町から補填のお金を出しているなら船を売ったほうがいいと思う。

一、維持費負担を考えたらその分をよその病院の交通費に補助すればよいと思う。

一、無ければ乗らない。

議員全員協議会

(令和4年2月18日)

案件

一、下北北部地区中山間地域総合整備事業概要について

(目的)

本事業は、中山間地域において農業生産基盤や農村生活環境等の整備を総合的に行い、地域の活性化を図るものである。

(事業概要)

事業名：中山間地域総合整備事業
地区名：下北北部地区
受益面積：224.9ha
事業期間：平成25年度～令和9年度
関係市町村：大間町・風間浦村・佐井村
全体事業費：基幹事業2,341,610千円
関連事業83,000千円

二、リサイクル家電回収費助成事業(案)について

(目的)

令和4年度の単年度事業にて、家電は6種、エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機を処分するに当たり、非課税世帯を対象に、搬入費用、最大5,000円を助成する。

(事業概要)

対象者：非課税世帯として、サイクル対象家電1台とする。(生活保護世帯含む)
助成方法：リサイクル料金 個人負担
搬入手数料：冷蔵庫150ℓ以上は5,000円、その他は一律3,000円
事業費：4,305,000円
対象者：861世帯(令和3年12月10日現在)

三、大間町特別職職員

の給与の特例に関する条件(案)について(概要)

令和4年4月1日から令和5年3月31日までに支給される給与月額について、1号職員

の町長は15%、2号職

員の副町長及び3号職員の教育長は10%の削減をする。

(参考)
町長：723,000円
副町長：577,000円
教育長：523,000円
削減額：共済組合負担金を含むと全体で約292万円

四、子宝祝金支給事業(目的)

子供の誕生を祝い、健全な育成を支援するため、大間町出産祝金を支給し、子どもを生育する世帯が安心して住み続けられる環境の整備に寄与することを目的とする。(受給資格者)
(1)出生の日が令和4年4月1日以後であつて、出生の日から申請日までの間、継続して本町の区域内に住所を有する児童を養育する者であること。

(2)申請日において1年以上継続して本町の区域内に住所を有していること。

(3)申請日において対象児童と同居していること。

(支給額) 対象児童1人当たり10万円

五、青森県新型コロナウイルス感染症対策補助金を活用した事業について

(目的)

コロナウイルス感染症の長期化による地域経済の疲弊と、燃料費等の価格高騰により厳しい生活が続いている町民に対する支援を目的とし、全町民に1万円を給付することで、感染対策、経済循環、燃料費補助などに活用していただく。
(給付方法) 申請受付後、指定口座に入金
(事業費) 49,984,000円

**大間町公共施設
配置計画策定・
建設特別委員会**

〔令和4年2月18日〕

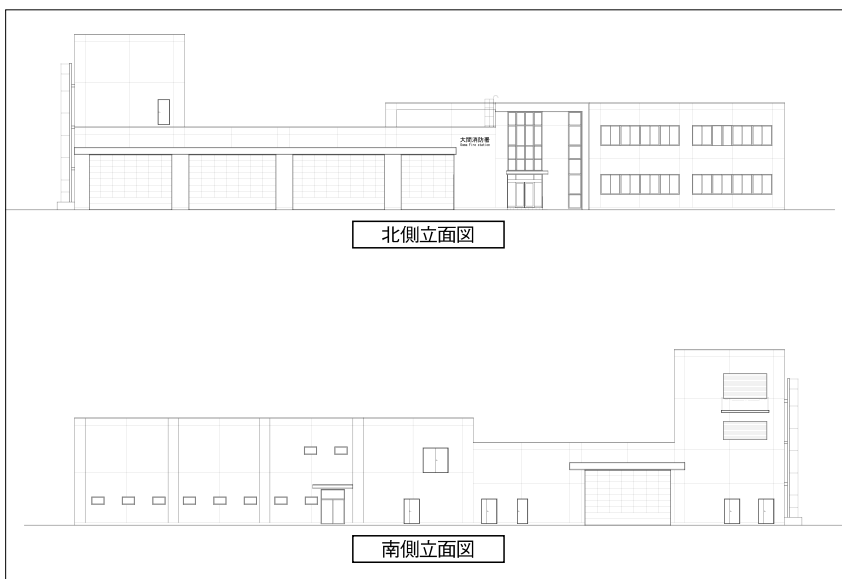
案件1 (仮称) 複合施設建設事業について

- (1)スケジュールの変更について
- (2)建設工事の変更契約について
- (3)事業費について

令和3年度に予定していた各委託業務及び各工事について、昨年のむつ市小赤川橋の落橋による仮橋の重量制限による材料搬入の困難、代替えルートである県道46号線の冬季期間通行止めになるため、今年度予定している工事ができない。建設工事については国の補助金を活用することから、当初予定していた工期では無理があるため国からは自然災害が理由で工期の延長が認められました。変更後は令和3年度工期が令和3年11月12日から令和4年6月20日を予定しています。



建設予定地位置図



大間消防署 立面図

案件2「大間消防署庁舎」建設について
1. 建設事業費について
建設事業費予定14億8400万円が、プロポーザルを実施した結果12億円程度になった。建設に係る2ヶ年分の施工管理費も加えても基本設計時と比べて2億4800万円の圧縮を見込んで現在実施設計にかかっている。

2. 水道管布設 実施設計契約の変更について
水道の引き込みについて大間高校前に本管が通っている。多少距離があるが、そこからの「ルート」が最適と判断し変更に至っている。
・水道管布設の場所より大間病院脇の町道、国道を経由し、隣

には大間警察署がある。建設予定地まで75mm管の水道管の布設工事となる。
・工事費は約3,000万円程度を見込み、この部分も起債対象となる見込みで進めている。
3. 財源 緊急防災・減債事業債の活用について
緊急防災減債事業債を活用、地方交付税措

置が70%の優位な起債事業として進めている。事前に県と協議、許可が必要である。必要要件の説明は、県側が当町を訪れ、町長と面談し、県の市町村課長より経緯説明を受け、追加業務の実施を判断し、契約変更する。
4. その他
・庁舎の右下部分に40トンの防火水槽を設置する方向で現在調整中。

大間町議会の出来事

(仮称)大間町複合施設建築工事

安全祈願祭



施工者の町・議会 工事関係者と共に工事の安全を祈願



電源開発 株式会社
渡部代表取締役社長 2年ぶりに来町

工事再開に 全力で取り組む

令和4年1月12日
大間役場にて、電源開発株式会社が、新年のあいさつを兼ねて、来町しました。
新型コロナウイルス感染症の蔓延もあり来町は、2年ぶり。
渡部社長は、工事再開に全力で取り組むと述べました。

(仮称)大間町複合施設 工事概要

工事名称 (仮称)大間町複合施設建築工事
工事場所 大間町大字大間字大間
(旧大間町役場・旧大間病院跡地)

発注者 大間町 町長
設計監理者 株式会社 石川設計
工事施工者 丸井・浜田・高松
特定建設工事共同企業体

建物用途 集会場・保健センター
建物概要 鉄骨造・平屋建て 1棟
建築面積：1,588.54㎡
延べ面積：1,528.69㎡

工事期間 令和3年11月12日～
令和5年2月20日



令和4年3月30日
(仮称)大間町複合施設建設予定地にて、安全祈願祭が、執り行われました。
議会からは、石戸議長はじめ7名が、参列し工事の安全を祈願しました。



編集後記

今年も4年に1度のサッカーの祭典ワールドカップが開催されます。今回は、中東のカタールが開催国。日本もアジア予選を突破し7回連続7度目の出場を決めました。予選グループは、スペインやドイツと強豪ばかりですが、決して日本も弱い訳ではありません。サッカー豆知識としてサッカー用語で、強いチームを倒すことを『ジャイアントキリング』と言います。ジャイキリを期待して皆様も是非日本代表の応援をよろしく願います。

記【堺】



議会広報編集委員

- 委員長 吉田 安 男
- 副委員長 佐々木 信 彦
- 委員 岩竹野 堺
- 委員 泉内 崎
- 委員 盛勝 信 祐
- 委員 利雄 行 介